

連携都市間の連携について

東日本連携を契機に実施された事業

(上田市✳さいたま市) ①「信州上田に旅しちゃう？」さいたま市・上田市交流事業

(那須塩原市✳さいたま市) ②那須塩原市サマーキャンペーン

(三条市✳さいたま市) ③BONSAI・TEIEN連携

(函館市✳さいたま市) ④教育旅行の誘致に係る連携

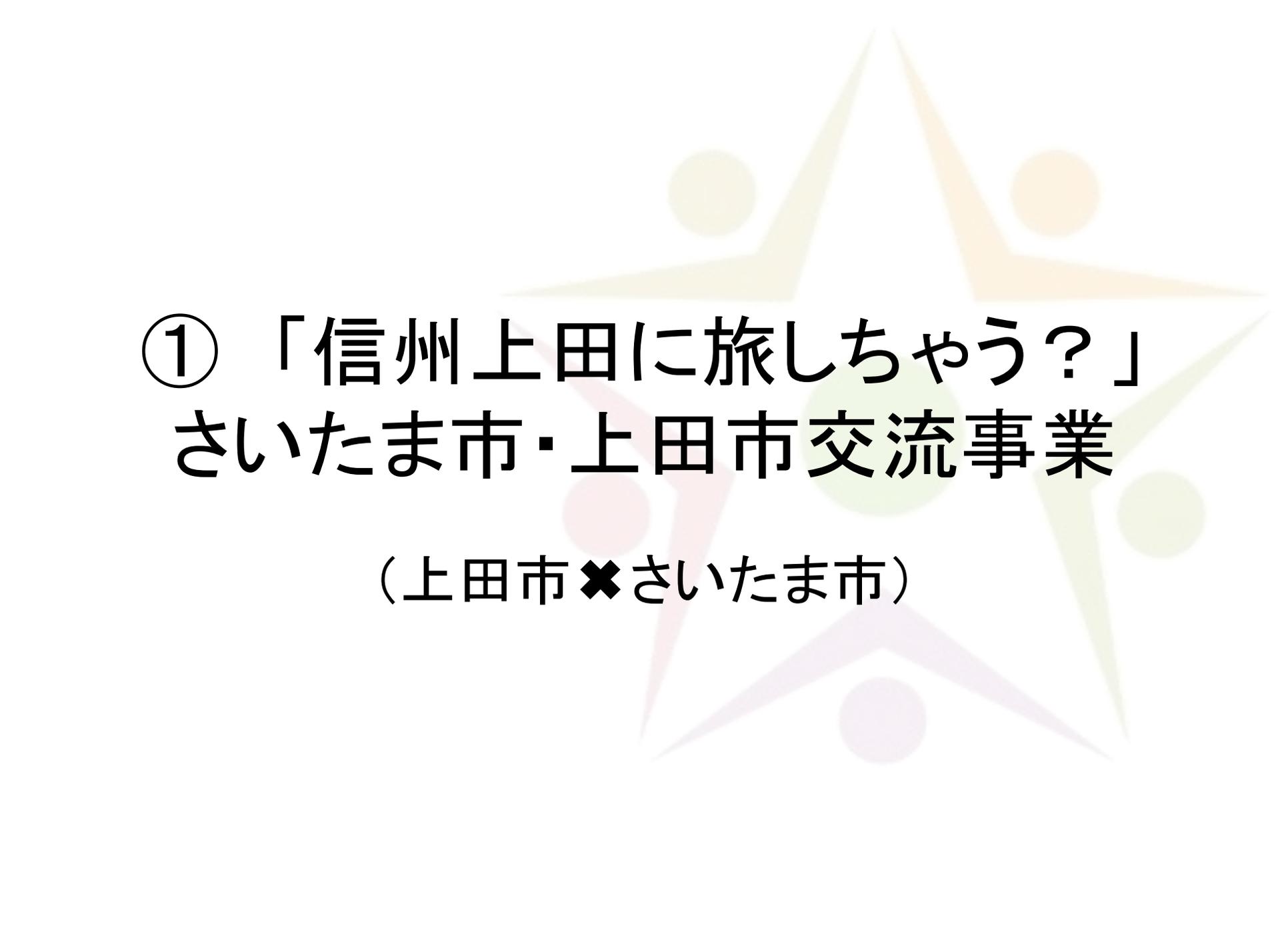
(金沢市✳さいたま市) ⑤Jリーグチームによる連携

(南魚沼市他✳連携都市) ⑥日本海美食旅の共同PR

(連携都市✳さいたま市) ⑦さいたま市内イベント等での連携都市PR



←市報さいたま7月号抜粋

A large, faint background graphic of a star. The star is composed of five points, each containing a stylized human figure with arms raised. The figures are colored in shades of yellow, orange, green, and purple. The star is centered on the page.

① 「信州上田に旅しちゃう？」
さいたま市・上田市交流事業

(上田市✕さいたま市)

1 事業の目的

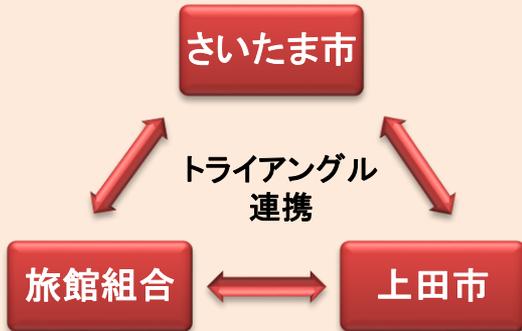
- 信州上田の魅力の一つでもある市内各温泉は、寒さの厳しい1月～3月にかけて閑散期を迎える。
- 比較的雪の少ない信州上田では、冬期間でも楽しむことができるスポットが多数ある。



冬期間でも楽しむことができる信州上田の魅力を積極的にPRすることで、さいたま市から各温泉並びに市内への誘客促進を図る。

2 事業の実施状況

(1) 実施体制



(2) 実施内容

① 魅力の再発見・再認識【両市・旅館組合】

合同現地調査



② この冬限定宿泊プラン造成【上田市・旅館組合】

PRチラシ作成



③ さいたま市内へ配布・周知【さいたま市】

協議会・包括連携協定企業と連携

① 職員・従業員への周知・チラシ配布

さいたま市役所・協議会・包括連携協定企業と連携し、社内へのプランの周知・チラシ配布(電子含む)を実施

さいたま市役所

高島屋大宮店

アルシエ

東京海上日動火災保険

そごう大宮店

パレスホテル大宮

包括連携協定企業

丸井大宮店

ダイエー大宮店

約1千人

東急ハンズ大宮店

東日本連携推進協議会

約1万人

約1.3万人

② 利用客向けチラシ配架

包括連携協定企業と連携し、利用客向けにチラシ配架を実施

郵便局(100局)

イオン(市内3店舗)

包括連携協定企業



郵便局でお客様用チラシを配架

③ JR大宮駅周辺でのPR

上田市・旅館組合が連携し大宮駅東口の高島屋前でチラシを配布するなどPR実施



3 成果

【魅力の再発見・再認識】

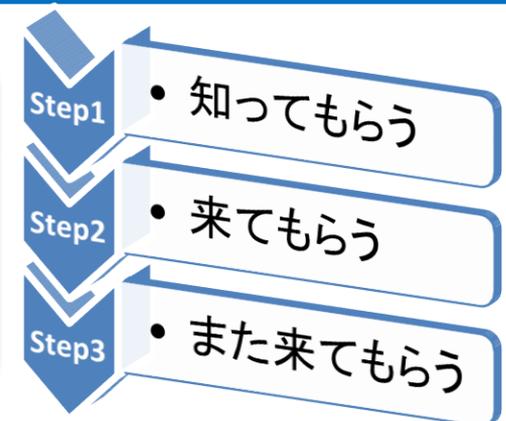
・さいたま市と合同で各温泉の現地調査を行うことで、住んでいると当たり前すぎて気づけない魅力を外部の視点から再発見・再認識することができた。

【上田の魅力を知ってもらうきっかけ】

・さいたま市、東日本連携推進協議会、包括連携協定企業の皆様のご協力により、多くの方々に温泉をはじめとする上田の魅力を知っていただく良い機会となった。

4 今後の展望

今回の事業は、上田の魅力を知ってもらう良い機会になったことから、今後、PR内容・周知方法など改善点を検討し、また、継続的な事業実施により、誘客促進、リピーターの確保に繋げていきたい。



② 那須塩原市 サマーキャンペーン

(那須塩原市 ✕ さいたま市)

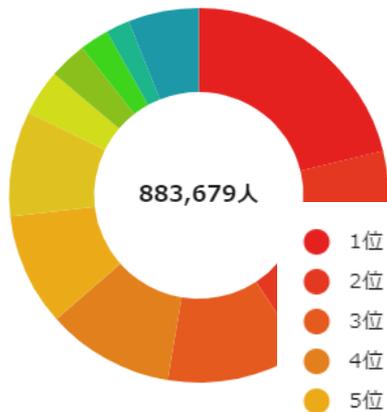


1 事業の概要及び目的

那須塩原市 サマーキャンペーン

那須塩原市では、老若男女問わず、世界的にも人気のあるサンリオとタイアップし、サマーキャンペーンを実施しています。

2017年 栃木県那須塩原市



人口割合からすれば埼玉県がNo1！

参考: RESAS地域経済分析システム From-to分析



東北新幹線《大宮駅》から《那須塩原駅》へ最短**41分!**



さいたま市に告知等の協力をしていただくことにより、那須塩原市に多くの方が来訪し、より身近に感じてもらうことを目的に実施。

2 事業の実施状況

さいたま市報 2018.7月号
告知していただきました。



詳しくは、経済政策課（☎829-1362、☎829-1944）へ。



さいたま市民特別グッズ
ハローキティ&みるひい
ステッカー
「市報さいたまを見た」で
ゲット！という企画をしま
した。

パンフレット配布

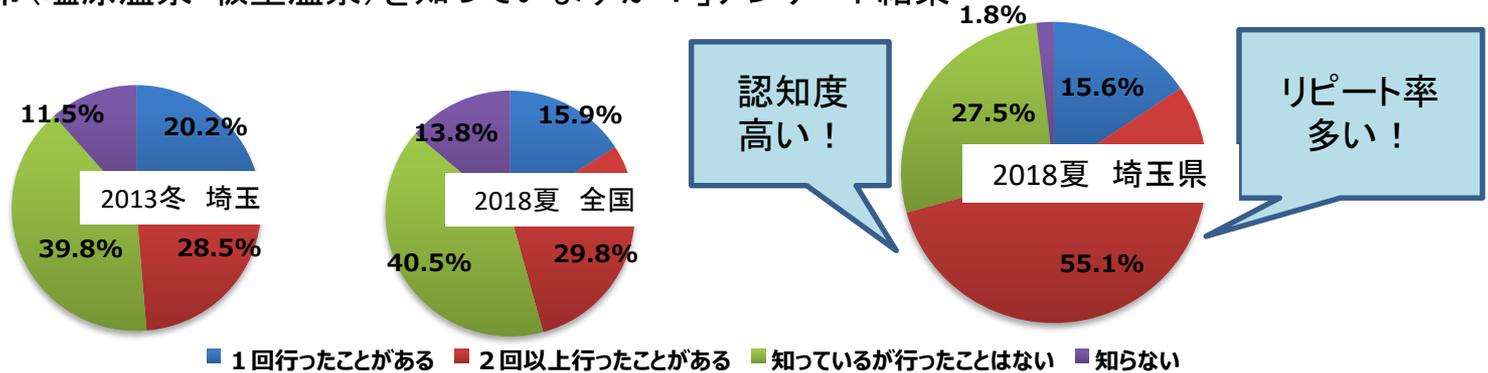
6月20日にさいたま市内
公立・私立認可保育所の
全園児へパンフレットを配
布していただきました。



©1978, 2018 SANRIO CO. LTD. APPROVAL No. 020000

3 成果

- A旅館では、7月～9月の宿泊者数の5%にあたる人に、さいたま市民特別グッズをお渡しできました。
- リーサスの構成割合からすると、那須塩原市の7月～9月の宿泊者数(速報値)のうち埼玉県民は約49,000人、さいたま市民は約15,000人が宿泊されたと想定できます。
- 「那須塩原市(塩原温泉・板室温泉)を知っていますか？」アンケート結果



今回告知していただけたことは、認知度が高まった要因の一つだと思っています。

4 今後の展望

- ・大宮—那須塩原間 冬期間バス運行
- ・東日本連携支援センター等でのイベント
- ・引き続きの連携協力



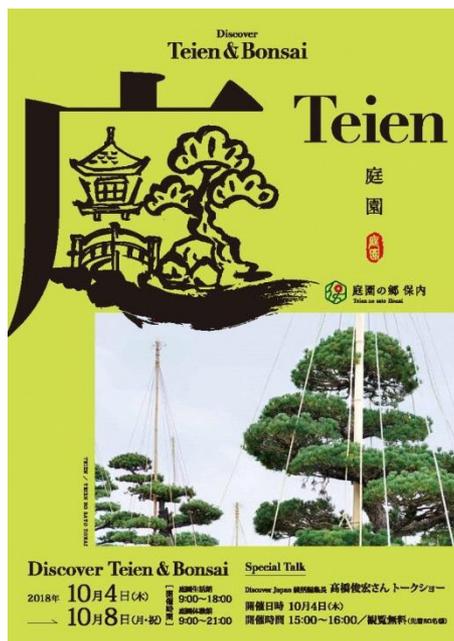
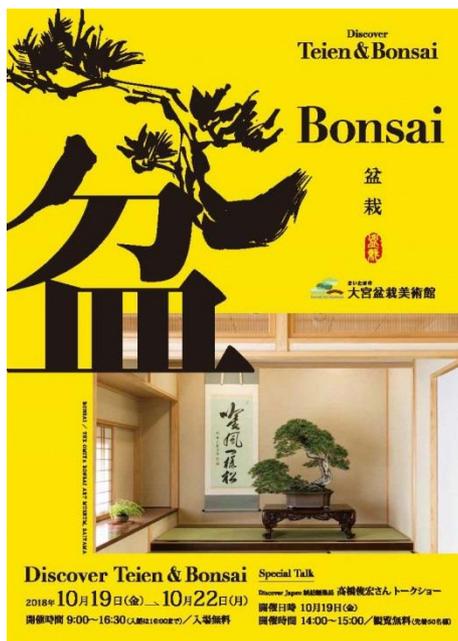
A large, faint background graphic of a five-pointed star. Each point of the star contains a stylized human figure with arms raised, rendered in a different color: yellow, orange, green, pink, and purple. The figures are positioned at the tips of the star's points.

③ BONSAI・TEIEN連携

(三条市 ✕ さいたま市)

1 事業の目的

さいたま市大宮の盆栽と三条市保内の植栽・造園とを両市の広域連携のもと、高い技術力やそれを培った歴史等について日本国内はもとより世界に向け発信し、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に、既に世界で共通語となっているアルファベットの「BONSAI」に続いて保内の「TEIEN」を世界の共通語とするため、訪日外国人を視野に入れたイベントを実施するもの



2020年
東京オリンピック・パラリンピックを契機



訪日外国人を視野に入れたイベント実施



「BONSAI」に続いて保内の「TEIEN」
を世界の共通語に

2 事業の実施状況

平成30年5月3日～5日 さいたま市（盆栽四季の家）



平成30年10月4日～8日 三条市（道の駅 庭園の郷 保内）



平成30年10月19日～22日 さいたま市（大宮盆栽美術館）



3 成果

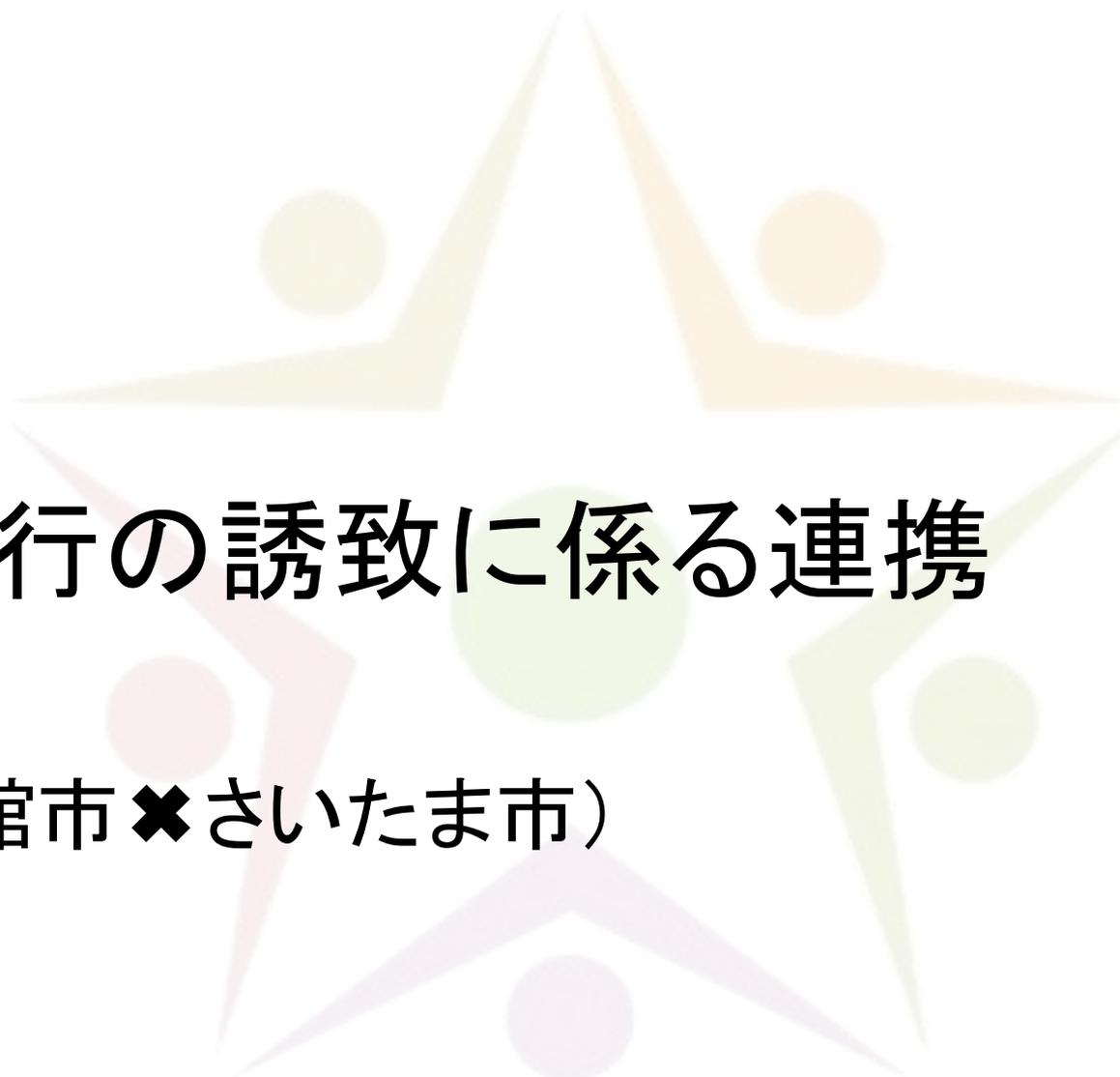
三条市でのイベントでは、「燕三条 工場の祭典」と実施期間を合わせたことが相乗効果となり、5日間で7,236人が来場された。多くの来場者に「BONSAI」の魅力を伝えることができた。

さいたま市でのイベントでは、三条市が普段接する機会の少ない外国人来場者との接点を作ることができ、「TEIEN」文化を発信することができた。

両市でのイベントを通じ、民間企業間（さいたま市大宮の盆栽園と三条市の造園業者や盆栽用品製造業者等）の交流が深まった。

4 今後の展望

今後も引き続き両市間の交流出展を進めるほか、海外に向けた情報発信や民間企業間の連携に向けた事業を進める。



④ 教育旅行の誘致に係る連携

(函館市 ✕ さいたま市)

1 事業の目的

東日本連携を活かし、さいたま市ご協力のもと、新幹線における連合体輸送枠（平成31年より設定）を活用した教育旅行プロモーションを行い、新幹線沿線エリアである、さいたま市内の学校において、平成32年度以降の函館方面への旅行先変更を図る。

2 成果

これまでは、旅行エージェントを中心にしたプロモーションに留まっていたが、さいたま市の積極的な働きかけにより、ターゲットである市立の中学校および高等学校に当市の教育旅行プログラムを紹介することができた。

3 事業の実施状況

① さいたま市校長会の場における教育旅行誘致プロモーション

【内 容】

新幹線における連合体輸送枠を利用した函館観光圏での教育旅行について、さいたま市中学校長会にてプロモーションを実施した。

【実施日・場所】

平成30年10月11日(木)
市民会館いわつき

【対 象】

さいたま市内中学校



3 事業の実施状況

②さいたま市立の高等学校に向けた教育旅行のご提案

【内 容】

函館観光圏への教育旅行について、移動面や観光素材についての紹介、モデルルートの提案等のプロモーションを実施した。

【実施日】

平成30年10月11日(木)

【対 象】

- ・市立浦和高等学校
- ・市立浦和南高等学校
- ・市立大宮北高等学校

⑤ Jリーグチームによる連携 (金沢市✕さいたま市)

Zweigen
KANAZAWA



OMIYA
Ardija



出展:み〜て大宮

1 事業の目的

- さいたま市、Jリーグクラブチーム（ツエーゲン金沢、大宮アルディージャ）と連携し、大宮サポーターに金沢の観光PRを行い、金沢で開催する金沢対大宮戦での金沢への来訪と滞在時間の拡大を図る。

大宮ホーム戦での観光PR



金沢ホーム戦での
大宮サポーターのまちなか周遊促進



ひがし茶屋街



兼六園



金沢21世紀美術館

2 事業の実施状況

○10月6日(土)大宮アルディージャ vs 水戸ホーリーホック戦

NACK5スタジアム大宮において金沢市イベントブースを出展

- ・金沢銘菓等がもらえるガラポン抽選会の実施
- ・金沢来訪時に利用できるクーポンブック・
観光パンフレットを配布
- ・大宮アルディージャオフィシャル旅行会社による
金沢1泊2日の特別観光プランの造成、販売



PRブースの様子

○11月4日(日)ツエーゲン金沢 vs 大宮アルディージャ戦

- ・石川県西部緑地公園陸上競技場アウェイゲート付近において
大宮サポーターをお出迎え
- ・大宮グッズ提示で金沢市文化施設を団体料金に割引

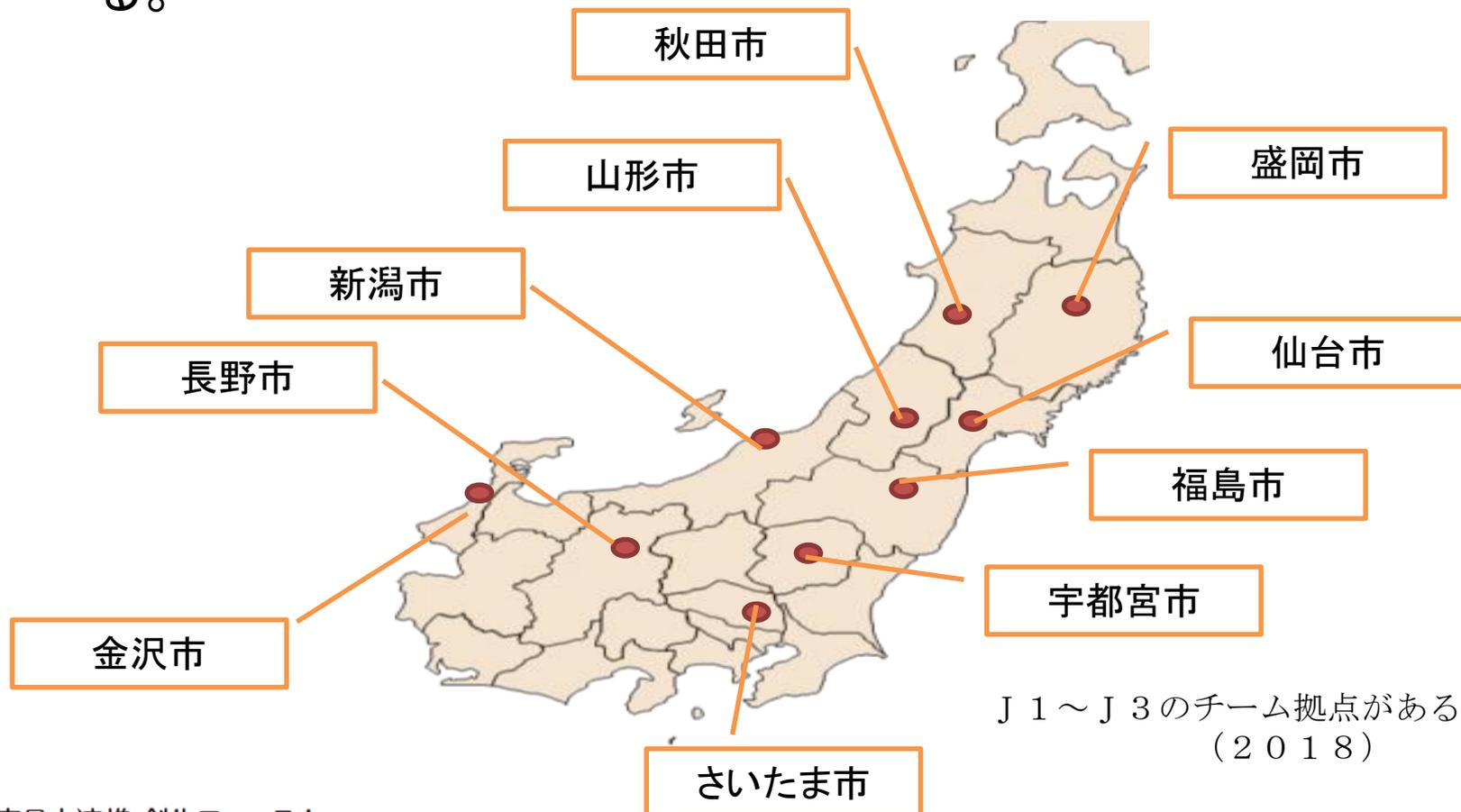


☆その他、大宮アルディージャスポンサー向けの

「ABCアウェイ応援ツアー&ビジネスマッチング」を金沢にて受け入れ(11/3-4)

3 今後の展望

- さいたま市、金沢市だけでなく、他の連携市にも波及させることにより、東日本連携都市間の交流人口の拡大につなげる。



J 1 ~ J 3 のチーム拠点がある連携都市
(2018)

⑥ 日本海美食旅の共同PR

(南魚沼市他 ✕ 連携都市)

新潟・庄内 ガストロノミー



日本海美食旅

新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン2019.10.1～12.31

プレDC2018.10.1～12.31

アフターDC 2020.10.1～12.31

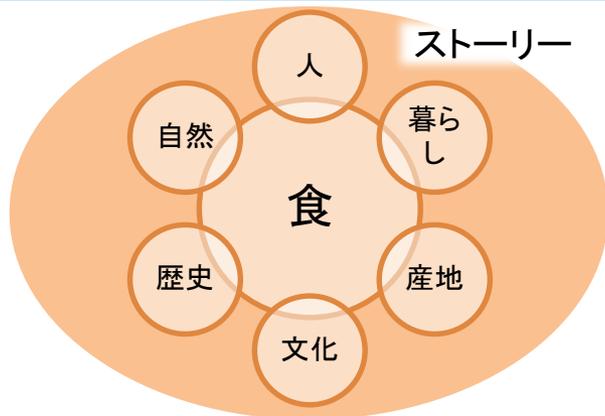


1 事業の背景 「日本海美食旅」



近年の旅行ニーズは、「その地ならではの経験」を求めることに変化してきています。それに伴い受け入れ側も、観光業界だけでなく広く地域の人々が関わる必要が高まっています。そうした環境変化を見据えて、私たちは、従来から進めてきた「うまさぎっしり新潟」、「おいしい食の都 庄内」を深掘りし、「食」だけにとどまらず、それを育んだ風土や歴史、そこでの暮らし、文化も体験してもらいたいと考えております。つまり「食」を軸にした滞在交流型観光が新潟県・庄内の観光の目指すところと考え、今回のDCで新潟県・庄内において展開させていただきます。

2 コンセプト 「食で地域のストーリーを伝える」



「食」というワンテーマに絞って情報発信します。つまり「食」を軸に、産地や暮らしなど様々な観光素材を関連させたストーリーとして紹介しながら、「食」を育んだ自然や歴史、文化的な背景なども合わせて発信します。また食文化を通じて地域住民と交流することが、観光客の再来の動機に繋がると考えます。



Area 01

佐渡エリア 佐渡市
佐州と公家文化、そして金銀山
能舞台や京都なまりといった公家文化をはじめ、様々な文化が息づく佐渡。江戸時代には日本最大の銀山として多くの人が賑わい、農業・漁業文化が発展した。豊かな田舎が育むお米と新鮮な魚介類を存分に楽しみたい地域。



Area 02

村上・新発田エリア 新発田中村上市 胎内市 堀内市 堀内町 関川村 桑島浦村
城下町文化
県北に位置する村上・新発田はかつて城下町として栄え、城や武家屋敷など古い街並みが今も残っている。ニヨギヤ(池)の町と呼ばれる村上には100種類を超える鮮魚料理が並び、出船港などで揚がる岩牡蠣、ヒメカレイなど有名な魚。



Area 03

新潟・阿賀エリア 新潟市 五泉市 阿賀野市 阿賀町
湊町文化と料亭
北前船の主要な寄港地であり、幕末には開港五港のひとつに選ばれた湊町・新潟市は新橋・碓氷と並ぶ花街として賑わい、料亭文化が発展し、今も思いつく。また、新潟市周辺にもレベルの高い料亭やレストランが多数並ぶ。



Area 04

弥彦・三条エリア 三条市 加茂市 糸魚川市 弥彦村 田上町
食文化を支える現代の旦那衆
平野部にぽっかり浮かぶ弥彦山に守られているこの地域は、新潟県内でも雨が少なく、野菜や果樹栽培に適している。また金窟加下産地としても有名な、社長の数も多いことで知られ、彼らが現代の旦那衆となつて若手料理人を支えている。





Area 07

妙高・上越エリア
謙信公が残した食文化

歴史と文化の香る上越地域は、食文化も謙信公の時代からの流しを汲む戦の際に備へ飯を盛ることが起源とされる「笹子しん」伝統的な発酵調味料「かんずり」が今も作られており、県境の糸魚川では西日本の食文化が強く残る。



Area 05

長岡・柏崎エリア
北前船と醸造文化の地

北前船の寄港地であったこと、三河・北国街道による人々の往来、豊かな自然によつて、江戸時代には「越後の喰い倒れ」と呼ばれた食文化が育った。醸造業も盛んで、根田岸地区を中心に味噌、醤油、日本酒の産元が多数ある。

Area 08

庄内エリア
出羽三山に息づく精神文化

出羽三山の精神文化、庄内藩鶴岡の城下町文化、北前船港地酒の酒造文化、その気風は運通と修験が、出羽三山に伝わる精進料理をはじめ、べんちやなど多くの在来作物が継承されており、現代では酒田フレンチなど、食の都府内を創造している。



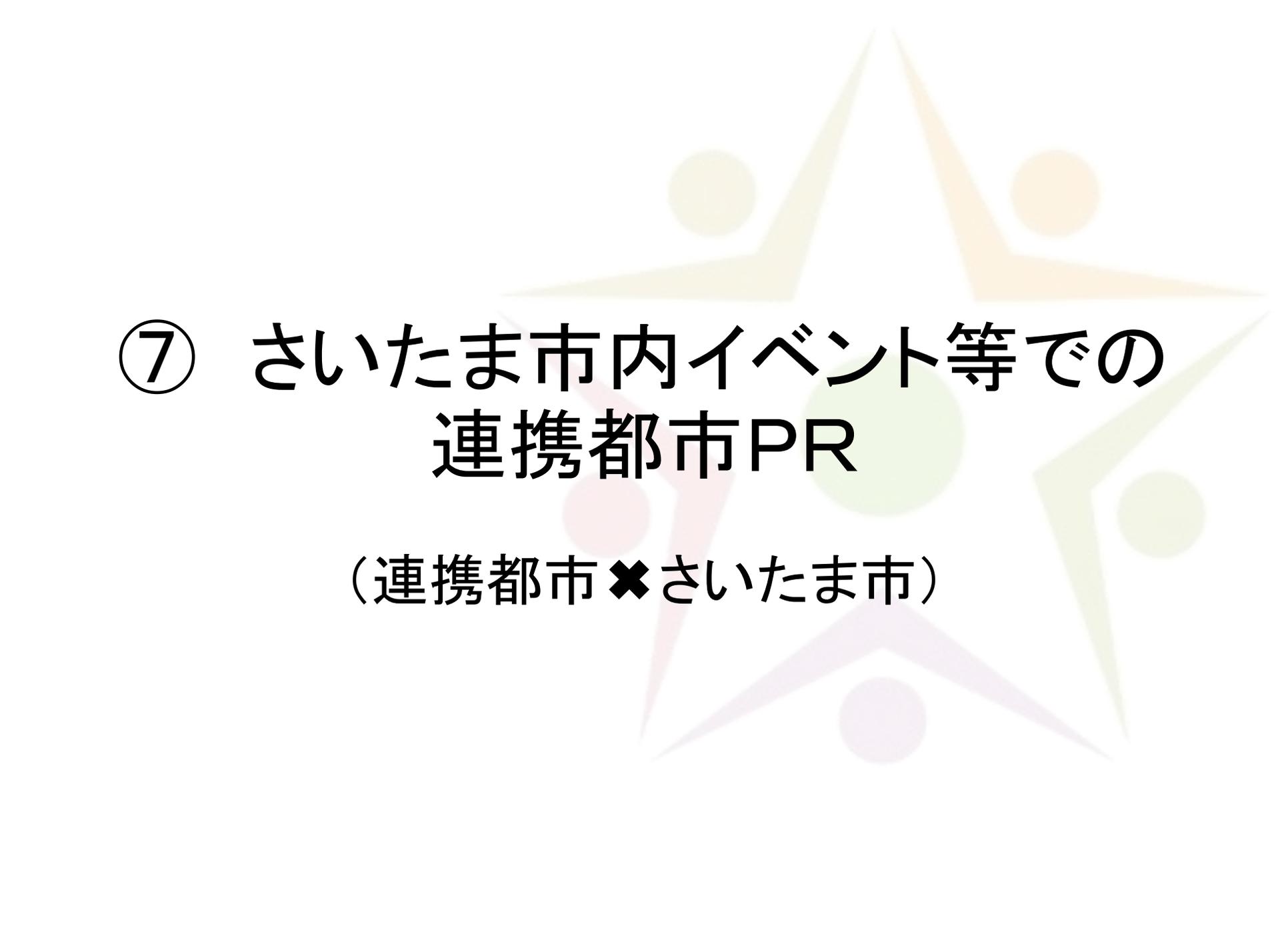
Area 06

湯沢・魚沼エリア
雪との共存「雪国文化」

新潟でも山深い地域があるが、信濃川と魚野川の舟運のおかげで非常に高い文化レベルを築いてきた。雪と共存する食文化を持ち、たくさん発酵食品、保存食が今も生活に息づく。魚沼産シメタリの産地であることは「うま」までもない。



以上のコンセプトで、新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーンを開催いたします。連携都市の皆さまには、ポスター掲示、パンフレット配布など、宣伝やPRに、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。



⑦ さいたま市内イベント等での
連携都市PR

(連携都市 ✕ さいたま市)

1 事業の目的

さいたま市内のイベント等を活用して、連携各都市の観光情報などについて、さいたま市がさいたま市民等へPRするもの。

連携都市にとって

- さいたま市民やイベント来訪者に対するPR手段が増えることで、効果的なシティープロモーションを選択することができるようになる。

さいたま市にとって

- 「東日本のヒト・モノ・情報」の交流が推進されることで、さいたま市が目指す「東日本の交流拠点都市」の実現化が図れる。



大宮区民ふれあいフェアでの連携都市PR



(仮称)東日本連携支援センター仮囲いでの連携都市PR

2 事業の実施状況

市内イベント等におけるパンフレットの配布

- さいたまスポーツフェスティバル、鉄道のみち大宮鉄道ふれあいフェア、大宮区民ふれあいフェア、ツールドフランスさいたまクリテリウム
- さいたま市との包括連携協定企業や、東日本連携推進協議会メンバーなどへの協力依頼

市内イベントにおけるブース設置

- 鉄道のみち大宮鉄道ふれあいフェア、大宮区民ふれあいフェア、ツールドフランスさいたまクリテリウム

「市報さいたま」への掲載

- 那須塩原市サマーキャンペーン(市報7月号)
- 鶴ヶ城天守閣無料観覧・会津若松市(市報9月号)

〇〇ナイトの開催

- 盛岡ナイト(平成29年9月)、里山・里海ナイト(氷見市・南砺市 平成30年1月)
- 平成30年度においても開催予定

マラソン大会動画の同時放映

- 「さいたま国際マラソン」のPR動画にあわせて、連携都市のPR動画を同時放映
- 市庁舎での放映のほか、さいたま新都心駅東西自由通路の動画装置でも放映



【里山・里海ナイトでの
氷見寒ブリ解体ショー】

3 成果

シティープロ
モーション情報
がさいたま市民
に「直接届く」



旅行代理店のパンフ
レットにはない地元の
ナマの声が載ってい
るので面白い。行って
みたくなる。

(鉄道ふれあいフェアでの声)

すっかりファンになっ
た、おいしいものを現
地で食べたい、好感
度が上がった、などの
声多数

(ナイトアンケートから)

4 今後の展望

- 各都市がPRしたい内容を、連携都市「相互」で依頼できる関係性を構築
- 各都市が「できる範囲で」PRに協力

フォーラム宣言「地域資源の相互活用による、相乗的な地域活性化の促進・交流人口の拡大」の実現へ